



2015年5月27日発行

結婚しない人が増えていますが、なぜでしょう。結婚の魅力ってなんでしょう。まず50歳までで結婚しない人の割合を示す生涯未婚率は1980年には男女とも5%未満でしたが、2010年には男性が20% 女性が10%をこえていました。コンビニや単身者向けの商品やサービスが増え、結婚せず一人暮らしでも困らなくなり、昔と違って結婚の利点をあまり実感できない男性が増えているのも実情のようです。一方女性からすると、女性が結婚相手に求める年収と実際の男性の年収に差があるのも事実です。女性にとって本来得られたはずの収入を結婚、出産によって失う“機会費用”が大きいとされています。失うものの大きさに値する男性でなければ結婚したくないのは自然といえるでしょう。経済にあまり目を向けると結婚できなくなりますが、本来は好きな人と一緒にいられる、子どもを持つという結婚の根本的な利点は経済的には説明できないので、本来の目的にもどって結婚相手をさがすことが、大事ではと思いますがいかかでしょうか。

## 《結婚の利点は》

	1987年		2010年	
	男性	女性	男性	女性
1位	精神的安らぎ	子どもや家族	子どもや家族	子どもや家族
2位	社会的信用	精神的安らぎ	精神的安らぎ	精神的安らぎ
3位	子どもや家族	愛情を感じる人と同居	親や周囲の期待に応える	親や周囲の期待に応える

(出所) 国立社会保障・人口問題研究所

★ 4月までのART成績です。40歳以上の方 頑張りました。流産率も高くなりますが、一步一步前進していると考えて頑張ってください。

## 《2015年1月～4月のARTの成績です》

採卵件数・・・118例【～29歳7例、30～34歳20例、35～39歳30例、40歳～61例】

受精方法別 { 体外受精・・・77例  
顕微授精・・・37例

融解件数・・・117例【～29歳 8例、30～34歳24例、35～39歳47例、40歳～38例】

移植件数・・・118例【～29歳 8例、30～34歳24例、35～39歳48例、40歳～38例】

妊娠数・妊娠率(移植あたりの胎嚢陽性率)・・・44例(37.3%)

【～29歳5例(62.5%)、30～34歳11例(45.8%)、  
35～39歳16例(33.3%)、40歳～12例(31.6%)】